

令和4年度卒業証書授与式

マスクで遮られようと距離を離されようと 私たちの心の距離はずっと近くにあった

令和4年度卒業証書授与式が3月1日（水）執り行われました。残念ながらコロナ禍のため、在校生の出席は叶いませんでしたが、卒業生164名は大志を胸に抱きながら学び舎由利高校を巣立っていきました。

○卒業証書授与

普通科・理数科・国際科の各代表が卒業証書を受け取りました。

普通科代表 畠山 蓮さん

理数科代表 加藤来夏さん

国際科代表 茂木璃海さん



○式辞 水谷佳延 校長先生 ～ 卒業証書は多くの人々の愛情と善意の『賜』

式辞では卒業を祝うとともに、「三年を越えようとしているコロナ禍は他に代えることのできない皆さんの高校生活を覆い尽くしました。それでも、皆さんは過酷な状況に不平を漏らすことなく、与えられた状況下で最善の行動をしてくれました。春の運動会や学校祭で1、2年生に見せてくれたリーダーシップは、女子校時代から連綿と引き継がれている由利高生のアイデンティティそのものである」と述べられました。

また、故立花隆氏の言葉を2つ引用し、「①物事を考えるときは適切なタイミングを逸しないこと ②真偽を疑い、「思い込み」で事を進めないこと」を紹介されました。

最後に、「卒業を最も喜んでおられるのは、無償の愛情を注ぎ、これまで大切に育ててこられた保護者・御家族の皆様であると思う。本日をもって卒業し、そして、将来自立した立派な社会人となりますよう、より一層の御支援と御指導をお願いしたい」として、改めてこれまで御協力くださった保護者の皆様への祝辞と感謝を伝えられました。



○送辞 在校生代表 須田雄太さん ～先輩方の頼もしい姿は在校生のよきお手本でした

コロナ禍で多くの不安や我慢を強いられた3年間であっても、投げやりになることなく一生懸命に努力し続けた姿を「由利高生の目指すべき姿」と讃え、3年ぶりに由利高校3大行事の全てを開催できたことは「3年生のご尽力があったからこそ」と感謝の気持ちを伝えました。

最後に、「由利高校は、先輩方にとって、どんなときも仲間と困難を乗り越えてきた場所であるはず」として、辛いことや悲しいことがあった時にはぜひ思い出してほしいと、新生活へエールを送りました



○答辞 卒業生代表 佐々木那波さん ～心の距離は近かった

高校生活を1ヶ月遅れの5月から始まったことに触れ、「感染症対策による制限に溢れ、初めて聞く名前も顔がマスクで隠れていて覚えることができなかった」と当時の心境を語りました。しかし、「思い返すと毎日の教室から響く声、体育館からグラウンドから聞こえる部活動の活発な声、放課後の笑いが絶えないふざけあった声、いつもの帰り道をたわいもない話をして盛り上がった何気ない毎日の全てが私たちの青春であり、どれだけマスクで遮られようと距離を離されようと私たちの心の距離はずっと近くにあった」と高校生活を振り返りました。

後輩達に向けては、「これからは、皆さんが伝統と歴史を引き継ぎ、新たな由利高校を創るとき。高校生活はあっという間に過ぎ、仲の良い友人ともすぐ離れてしまう。後悔のないよう全力で密な青春を過ごしてほしい」と述べました。

最後に、「私たちは別々の道を歩んでいくことになるが、いつか自分自身の目標を達成するその日まで、由利高校での経験をずっと心に秘めて頑張らしましょう」と卒業生全員に語りかけました。



令和4年度授賞式

卒業式に先立ち、2月28日（火）に開催されました。表彰は次の通りです。

- 皆勤賞17名。3年間無遅刻無欠席だった生徒に贈られました。
- 生徒会活動賞・栄光賞32名。全県大会優勝や全国大会等に出場した生徒に贈られました。
- 生徒会活動賞・功労賞10名。全県大会入賞や東北大会等に出場した生徒、また、生徒会役員等で功労があった生徒に贈られました。
- 伝達賞
 - ・全国商業高等学校長協会卒業生成績優秀者表彰1名。商業科目を学び、成績優秀だった生徒に贈られました。

水谷佳延校長は式辞で、「今回の受賞は、健康に留意しつつ、きちんとした生活のリズムのもとで、毎日の勉強や部活動、生徒会活動等に一生懸命取り組んだ積み重ねの結果です。コロナ禍においてつらい思いをした人も多かったと思いますが、強い気持ちでそれを乗り切ったことを含めて、これまでの皆さんの努力に対しまして、改めて敬意を表します。」と述べられました。